

当院における全血輸血の使用状況と合併症に関する後方視的研究

【研究の目的】

日本で行われる輸血は主に成分輸血ですが、離島など医療資源が限られた地域では院内採血による全血輸血が行われることがあります。当院でも命にかかわるような危機的出血時には全血輸血を行うことがあります。日本で全血輸血を行っている地域は少ないため、全血輸血に関するデータは貴重です。当院のデータから全血輸血が必要となる場合の患者さんの疾患や実際の輸血量、転帰、合併症などを明らかにすることで、全血輸血の現状と課題を明らかにすることを目的とした研究です。

【研究対象】

平成 18 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日の間に当院で全血輸血が投与された、もしくは投与される可能性のあった方（供血者からの採血がされていた方）

【研究期間】

令和 7 年 1 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

【研究実施場所】

沖縄県立八重山病院

【研究に用いる情報・試料】

情報：診療録に記載されている年齢、性別、背景疾患、供血者採血量、全血輸血投与量、時間経過、全血輸血投与前のバイタルサイン、血液検査結果、転帰（24 時間および 30 日死亡）、合併症など

試料：なし

【研究組織】

沖縄県立八重山病院 救急科 西村 朋也

沖縄県立八重山病院 救急科 竹島 茂人

【研究に用いる情報に関して】

診療録から抽出した情報は、匿名化をおこない、個人を識別できないように十分配慮をし研究に使用します。情報は沖縄県立八重山病院の西村朋也が厳重に管理を行います。情報は研究目的のみに使用します。本研究は既存の診療録のみを用いるため、患者さんに新たな検査や処置を行うことはありません。本研究は沖縄県立八重山病院倫理委員会の承認を受けて実施します。

研究の成果は、個人情報明らかにしないようにした上で学術集会や学術雑誌等で発表・公表を行います。

患者さんご自身もしくはご家族が、本研究に患者さんの情報を使用してほしくない場合は下記連絡先までご連絡ください。その場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

また本研究に対するご質問や心配なことなどがある場合もお気軽に下記連絡までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

沖縄県立八重山病院 救急科 西村 朋也

沖縄県石垣市真栄里 584-1 電話：0980-87-5557

【改訂履歴】

令和7年3月27日 初版作成

令和8年6月9日 第2版 研究対象期間を平成18年4月1日から令和8年3月31日に変更